



市職労は合併に反対 合併を決めるのは市民

問題点を
市民に知ら
せて

「合併の是非は住民投票で 未来の会とともに運動を」

未来の会とは

「門真の未来とまちづくりを考える市民の会」の略称。昨年11月に結成され、合併に賛成・反対を問わず誰でも参加でき、門真の未来・合併・まちづくりに関する問題を意見交流し、情報を提供し、市民の意見を門真市に反映できるように活動しています。市民公開合併問題学習会や「合併とまちづくりを考える市民のつどい」を開催。合併協議会へ住民投票実施などの要望書を提出。市職労も参加し、役員を派遣しています。

大阪でも 住民投票の動き

4月に堺市との合併の賛否を問う府内で始めての住民投票が実施された高石市では、

「合併反対」が「賛成」「やむを得ない」の合計を大きく上回り、同時に実施された市長選挙でも「小都市幸福論」を掲げ合併反対を唱えた新人

が、現職を大差で破り、市単独で財政再建に取り組んでいます。

また、阪南市と田尻町、岬町は、泉佐野市と泉南市との5市町の泉州南部での広域合併について、住民投票で最終意志決定をおこなう方針を発表。来年夏の参院選との同時実施を検討しています。

門真でも 過去に住民投票

門真には、守口との合併について過去に7度、住民の意思で決定した歴史がありました。1951(昭和26)年には、門真町で守口市との合併

合併協議会の協議では

住民投票にするかアンケートにするか
そういう事も協議会で決めて頂きたい

—— 東会長の発言 ——

「あくまでも最終的に合併を決めるのは、私は市民だと思います。市民へのこれへの問い方はいろいろあると思います。その問い方につきましても、合併協議会の方々にお考えいただいて、そして結論を出していただきたい。住民投票にするか、大がかりなアンケートにするか、その他いろいろあるかと思いますが、そういったこともこの協議会で決めていただきたい」と第2回合併協議会で東会長が発言。

の住民投票をおこない、賛成567、反対2268という反対の結果を出し、合併は白紙となりました。
過去の7度にわたる合併の動きの主たる理由は、守口の財政難解消であることが共通しています。

未来の会が 住民投票講演会

ぜひ、参加を

講師 ジャーナリスト・住民投票立法フォーラム事務局長

今井 一さん

- と き 12月4日(木)午後7時
- と ころ ルミエールホール 小ホールにて